

KSKS

わあ〜い

編集人

社会福祉法人

心愛

〒573-0146

枚方市大峰元町1丁目21-5

TEL 072-859-9194

FAX 072-859-9195

NO. 48 2023. 12. 24

shingakujuku2004@themis.ocn.ne.jp

<http://www.shinai.info>

社会福祉法人心愛

20周年記念 特別号

20th



二〇〇〇年十二月二日第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価百円



社会福祉法人 心愛
Social welfare corporation SHINAI

新しい明日へ 法人設立20周年に寄せて

理事長 藤澤 秀治

社会福祉法人心愛が、2003年9月に国から設立認可を受け早くも20年が経ちました。

当時の枚方における作業所の状況を振り返ってみると、市の財政が厳しくなるにつれ、それまで認めていた3名以上という小さな作業所の運営補助を市単独で補助していくことができなくなり、市は、市内の小規模な作業所の法人格取得に対して「国の利用者の定員や基本財産に緩和がある今こそ取得を」と呼び掛けていました。それまで3人の親が集まり、

小さなアパートの一室を借りて運営していたような作業所が、相当なご苦勞をされたことは、想像に難くありません。前理事長らも市へ相談に足を運び、何度も府へ同行したことを思い出します。そんなご苦勞を見てきましたから、5年前理事長が高齢を理由に勇退されると、「後任に」という要請を断り切れませんでした。それからの4年間は、新型コロナウイルスに翻弄される毎日でしたが、皆さんの協力もあって、昨年の8月に作業



2023 心学塾フェスタで

所を一週間休所しただけで乗り切ることができました。そんな中、3期目に入り、法人設立20周年を迎えました、これまで節目で行ってきたような「記念事業」は実施できませんが、改めて池永前理事長はじめ先人の皆様に感謝し、法人設立の主旨である「どんなに重い障害があっても、利用者一人ひとりが人間として尊重され、地域で普通に生活できる社会の実現」を目指していきたいと考えています。

今年の5月、心愛後援会が解散されることになりました。財政的にも精神的にも支えていただいていた後援会が解散されるのは少々寂しい気もしますが、理由は「役員のなり手がいない」とのことでした。旧後援会の役員の皆さんには、今後もいろいろな意味で「支援」していただけるということなので一安心ではありますが、法人も後援会も時代に即して少しずつ若返りを図り、変わっていかねばならないのではないかと思います。

今年の関西は、阪神タイガースのアレで大いに盛り上がりましたが、その阪神のOB、鳥谷敬氏が、「うまくいっていないと思った時はピンチと思うな、チャンスと思え」と言っていたことを思い起こしています。これからも作業所やグループホームにはいろんな難題が待ち受けていることと思いますが、職員を始め保護者の皆さんとも論議を重ね力を合わせて、利用者がいつまでも安心して通ってこられる「場づくり」のためにがんばっていきたくと思っています。

社会福祉法人心愛に対するより一層の皆さんのご支援、ご協力をお願いいたします

社会福祉法人心愛 20 周年 お祝いのお言葉を頂きました。

社会福祉法人心愛 20 周年 誠におめでとうございます。

思い返せば 20 年前の竣工式に出席し感慨無量でした。子供を思う親の行動力、力強さ、又それを支えて携わっていただいた方々の土台があり迎えられた事を思うと胸があつくなり参加した思い出があります。

最初の仕事と言えば牛乳パックのリサイクル・ネジ・クギの袋詰め始まり、ペットボトルのリサイクル、受託販売、請負（シール貼り、造花）、さおり織り等を経て、現在の菓子工房が出来る迄に成長しました。これもひとえに皆様のおかげです。感謝いたします。ありがとうございました。

昔から、この作業所に感じる事は通所生の中の良さと指導員さんの関わりが自然な所です。娘も無認可作業所よりお世話になっていて、最初の頃は内気で自分から話すことはなかったのですが、徐々に慣れて休む事なく楽しく、グループホーム・作業所に元気に通っています。

これもひとえに、長年携わっていただいている指導員さん、世話人さんのご指導のおかげと感謝しております。これからも益々発展していくことを祈りつつ、微力ではありますが、協力させていただきたいと願っております。

保護者 小山 康子

心愛にこめる願い

心学塾作業所（指定障害福祉サービス事業所）の心と、あい愛の家（障害者のグループホーム）の愛の二つの文字が合わさって出来た『心愛』です。

心を通わせ生活する

利用者、保護者、職員が心を通わせ合い、利用者が個性に合わせて働らき、たくさんの愛を支えに地域で普通に生活すること。

心愛の歴史

沿革

心学塾作業所は、1989年に枚方市くずは公民館ではじめた『あそぼう会』(知的に障害のある青年のための自主グループ)から始まりました。

そこからいろいろな人達とのかかわりを広げていき、安心して集い、活動できる拠点を作りたいと、1990年に無認可作業所『心学塾作業所』が生まれました。

その後、NPO法人心学塾を2001年に立ち上げ、グループホーム『あい愛の家』の運営を始めました。しかし、心学塾作業所は、無認可施設であるが故、その運営基盤は脆弱であり、メンバー(利用者)に対する充実した支援や安定した運営を行うために、私たちは国の社会福祉法人の設立要件緩和をうけて、2003年に社会福祉法人心愛を設立し、『心学塾作業所』の経営と『あい愛の家』『ゆう友の家』『だん暖の家』の運営を続けています。

1990年4月(平成2年)

枚方市楠葉朝日のマンションの一室を借りて無認可作業所「心学塾」を始める。(利用者3名、職員1名)



1

1992年4月(平成4年)

養父丘の戸建て民家に移転(マンションの3階ではネジ・釘の搬出入が困難なため)



1995年4月(平成7年)

大峰元町1丁目の現在地に移転(利用者7名、職員6名)
(大規模なペットボトルの分別作業のため)



2

2001年4月(平成13年)

NPO法人「心学塾」設立。
(利用者9名、職員6名)



3

4

2001 年 5 月(平成 13 年)

グループホーム「あい愛の家」
開設(田口 1 丁目、利用者 4 名)



2003 年 9 月(平成 15 年)

社会福祉法人心愛設立

2004 年 1 月(平成 16 年)



2004 年 3 月(平成 16 年)
3 月 27 日 竣工式



5

2008 年 4 月(平成 20 年)

自立支援法が定める[障害福祉サービス
事業所「心学塾作業所」]に移行
(利用者 21 名、職員 14 名)

2004 年 4 月(平成 16 年)

知的障害者小規模通所授産施設
「心学塾作業所」開設
(利用者 11 名、職員 9 名)

2010 年 9 月(平成 22 年)

心学塾作業所設立 20 周年記念
に利用者 22 名と職員 14 名全員
が「東京ディズニーランド」に行く

2008 年 8 月(平成 20 年)

第 2 号グループホーム「ゆう友の家」開設
(出屋敷元町 1 丁目、利用者 4 名)

2013 年 3 月(平成 25 年)

第 3 号グループホーム「だん暖の家」開設
(大峰南町、利用者 4 名)
障害者総合支援法施行(4 月 1 日)

6



2014 年 4 月(平成 26 年)

4 月 12 日 焼菓子施設「セ・ボン」竣工式

2023 年 12 月

現在に至る

社会福祉法人心愛設立 20 周年おめでとうございます。

娘は、大阪万博の年に誕生して 11 ヶ月後に急性脳症、脳炎後遺症になり障がいがありました。

昭和 61 年 4 月枚方市進路補助事業の制度を利用して、山田中学校の一室を借り、昭和 64 年 3 月までの 3 年間に在学中の生徒さんと交流もしながら、娘と一緒に卒業した人、先生方と共に娘の将来を考え「施設でもなく、在宅でもなく地域の中で何かを？」を求めました。その後「山田ひまわり作業所」になり、平成 13 年 3 月まで通所していました。この間に時代も変わり、グループホーム制度が始まり、私たちが求めていたのは、これだと感じました。ですが、法人でないといけないとの事でした。平成 13 年、年明けに、「NPO 法人心学塾」の池永さんがグループホームの設立に向けて頑張っておられる姿にひかれ、娘の通所をお願いして 4 月に入所しました。

平成 14 年になり建物建て替えの話があり賛同しました。6 月には、発起人会発足、保護者会も何回も話し合いを重ね備品等の買い物も将来が見えて楽しかった思い出があります。

平成 15 年 9 月に社会福祉法人心愛設立。設立の為の事務手続き等、池永さんご夫婦には、それはそれは大変な事であったと感謝しています。

父親は、理事、評議員の役員になり、そして後援会の会計もしました。後援会は福祉医療機構からの借入金の返済の為発足。たくさんの方々に後援会費、寄付金、バザー品の提供などでとても助かりましたし、私たち保護者の励みになりました。バザーは、前日準備、当日販売、後片付けと、お弁当持ちで頑張りました。売上金計算の時、皆笑顔で交流もあり楽しかった思い出です。

平成 16 年 4 月に新しい建物で開所。やっとできたと、皆の晴れ晴れした表情を忘れられません。当時のメンバーは 11 名でした。その後、焼菓子作りも始まり、お手伝いも楽しかったです。平成 20 年 8 月に念願だったグループホーム「ゆう友の家」が開設して入所できました。最初は「一人で寝れるか？」等、他にも色々不安でしたが、現在は「だん暖の家」で楽しんで過ごしています。

作業所での指導員さん、グループホームでの世話人さんの、ご熱意とたゆまぬご尽力のおかげで、娘は 22 年の間に成長して作業所の仕事や行事を楽しみ、グループホームの自室で TV を観たり、ゆったりして一人寝もでき、よく会話も楽しんでいる様子を聞き、親としてホッとしております。心から感謝しています。ここ数年、コロナ禍で行事も無くなっていましたが、今年は少しずつ参加でき有難いです。親も高齢になり、子供の先行きがとっても心配ですが、これからも一緒に考え、支援して頂けたらと思っています。

様々な困難があるかと思いますが、今後とも宜しくお願い致します。

グループホーム

だんだんの家 設立 10 周年



グループホーム「だんだんの家」は、沢山の方々からのご支援ご協力を頂き、おかげさまで 10 周年を迎える事が出来ました。心から感謝申し上げます。また、11 月 2 日(木)に「だん暖の家」にて、10 周年記念パーティを小さいながらもさせて頂きました。日々、メンバーさんを支えて下さっている、だん暖の家の職員全員に社会福祉法人心愛から切子のグラスを理事長が一人一人手渡しで贈呈させて頂き、メンバーさんには豪華な食事やケーキをご用意させて頂きました。とてもアットホームで笑顔が溢れたお祝いになりました。今後も皆様からのご支援ご協力を頂いた感謝を忘れずに、施設名と同様にメンバーさんにとって暖かくて居心地のよい居場所を守ってきたいと思います。



2023 年 3 月にグループホーム「だん暖の家」が 10 周年を迎えました。

立ち上げ当初からは利用者さんの入れ替わりはありましたが、利用者さんと共に歩み成長できた 10 年だったと思います。

それもまた職員、各ホーム主任、保護者の方々のご協力があったからだと思います。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

これからも利用者さんの尊厳と個性を大切に、寄り添いながら笑顔あふれる温かみのあるホーム生活が送れるようにお手伝いのできたらと思います。

だん暖の家 西田



寄付金をいただきました。

紙面をお借りして心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同)

2023 年 8 月 25 日～2023 年 12 月 18 日

- | | | |
|----------------|------------------------|--------------|
| 笹井 充子/森 加代子/心愛 | 後援会/心学塾作業所 | 保護者会/伊瀬知 宣朗/ |
| 松本 則雄/後藤 蓉子/奥西 | 三枝子/武田 三郎/池永 満生/藤澤 秀治/ | |
| 桑田 能安/江田 勝彦/植木 | 廣高/小野 力 | |

心学塾フェスタ 2023

3年間開催できなかった心学塾フェスタですが、今年は開催することが出来ました。新型コロナウイルス感染拡大を防ぎながら、祭りを楽しんで頂く為に、移動動物園とキッチンカーをお招きして来場された方たちに楽しんで頂こうと計画しました。モルモット、フクロウや犬、ヒヨコなどかわいい動物にふれあい、皆さんの笑顔を見ることが出来ました。作業所内には、心学塾作業所を知ってもらう為の各事業の紹介ポスターを展示し、来場して頂いた方に見て頂きました。(渡加)

キッチンカー大人気!

心学塾ってどんな所?

二〇〇年二月二日第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

定価百円



ご寄附のお願い

社会福祉法人心愛では、どのような時代がこよとも知的にハンディのある利用者が地域で安心して幸せに生きていける社会の実現を目指しています。しかしながら、現在の社会福祉制度において施設の建設・運営等の資金は、公的補助金と寄附金を前提に成立しています。

当法人も創成期より多くの方々のご善意とご支援のもとで、サービスの充実化や福祉の課題に向き合い、事業を継続してまいりました。その為、お寄せいただいた寄附は財源の一部とし、利用者の高齢化等による課題に向けての設備の充実化やサービス向上、事業の拡大等に活かしていきたいと考えています。皆様からのあたたかいご支援を心よりお願い申し上げます。

社会福祉法人心愛への寄附は寄附控除の対象となります。

1月の予定

- 1 / 8 (月) ~冬季休暇
- 1 / 10 (水) 市役所バザー
- 1 / 13 (土) 土曜開所
- 1 / 19 (金) 市役所バザー
- 1 / 27 (土) 土曜開所

★編集後記★

イベントに少しずつ参加できるようになってきました。メンバーさんも、コロナやインフルエンザにかかることなく毎日元気に通所されています。今後も、感染対策に気を付けながら毎日メンバーさんと共に過ごしたいと思います。

●○編集後記○● 中村・津熊・渡加